

## 2022年3月期 第3四半期決算（連結） 前年同期比で増収・増益となり、過去最高益を達成

株式会社 JP ホールディングスの2022年3月期 第3四半期の連結決算概要をお知らせいたします。

2022年3月期 第3四半期は、期中における受入児童の増加により**増収・増益となり、過去最高益を達成**いたしました。また、**2022年3月期連結業績予想に対して、当第3四半期連結業績の達成率は、売上高で74.9%、営業利益で78.8%と好調に推移しております。**

なお、2022年3月期 第3四半期決算の詳細につきましては、本日公表いたしました2022年3月期 第3四半期決算短信、四半期報告書をご参照ください。

### （1）2022年3月期 第3四半期 連結業績の概要

単位:百万円	2022年3月期 第3四半期実績	前期増減	前期増減比	2021年3月期 第3四半期実績	2022年3月期 業績予想	業績予想 達成率
売上高	25,382	702	2.8%	24,679	33,900	74.9%
営業利益	2,151	337	18.6%	1,813	2,730	78.8%
営業利益率	8.5%	1.2%	-	7.3%	8.1%	-
経常利益	2,170	338	18.5%	1,831	2,760	78.6%
経常利益率	8.6%	1.2%	-	7.4%	8.1%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益/当期純利益	1,405	262	22.9%	1,143	1,760	79.9%
1株当たり 四半期純利益/当期純利益	16.07円	3.0円	-	13.07円	20.12円	-

#### ① 売上高について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、期初において緊急事態宣言が発令されたことから受入児童数が減少したものの、コロナ禍においてデジタルを活用した園見学や英語・体操・リトミック・ダンスなどのオンラインプログラム実施、新たな幼児学習プログラムの導入など、「選ばれる園・施設づくり」の取り組みによる期中の受入児童の増加及び新規施設の開設により**前年同期比で2.8%の増収**となりました。

#### ② 営業利益について

今期より新人事制度の導入に伴う賞与支給対象期間の変更による賞与引当金の増額ならびにシステム導入に伴う費用の増加等の特殊要因により前年同期と比較して費用が増加したものの、新規施設の開設及び上記の各種施策による期中の受入児童の増加等により売上高が拡大したこと、また、各施設の人員の再配置による効率的な運営、採用活動や各種備品類の発注体制の見直しなどにより、各施設の収益改善ならびに費用抑制に努めたことで、**前年同期比18.6%の増益**となりました。

#### ③ 経常利益及び親会社株主に帰属する当四半期純利益について

上記の効率的な運営体制の確立により営業利益が大幅に増加したことで、経常利益は**前年同期比18.5%の増益**、親会社株主に帰属する四半期純利益は**前年同期比22.9%の増益**となりました。

### （2）今後の対応について

当社は、デジタル化の導入を積極的に推進しており、デジタルによる園見学、英語・体操・リトミック・ダンスプログラムのオンライン化、海外の保育所等と国内の子育て支援施設をオンラインで繋ぐ国際交流プログラムの展開、幼児学習の拡充として株式会社学研ホールディングスとの業務提携による新たな幼児学習プログラム「もじかざランド」の導入など、他社に先駆けた様々な施策が奏功したことで、大きな成果を上げております。

当期におきましては、これらの様々な施策を確実に実行することで、通期業績予測の達成を見込んでおります。

更に、新たな価値を創出する新規事業開発にも注力しており、2022年4月より子育て支援と資源の有効活用・環境保全（SDGs）の両立を目的とした子育て支援プラットフォームとして「子育て商品マッチングサービス」を開始します。本事業は、既存事業以外の新たな収益の柱として推進いたします。

今後においては、海外展開やサービス・コンテンツの拡充を図ることで、来期以降の業績拡大に大きく影響するものと考えております。

以上